事業所名	放課後デイサービスみのり	支援プログラム	作成日	7 年	2 月	14 日

法人（事業所）理念	子どもの成長と子どもを取り巻く環境に焦点をあて、一人ひとりに合った適切な支援を行います。
支援方針	1　子ども・保護者の立場で考え支援します。 2　子どもの成長に合った療育を提供します。 3　人権擁護・虐待防止に積極的に取り組みます。 4　地域の子どもたちを支えていきます。

営業時間									送迎実施の有無			
平日 学校休業日	15 10	時	0 0	分から	18 18	時	0 0	分まで		(あり)	なし	（全ての方に提供できるわけではございません）

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	**「生活リズムを整えよう」** 放課後（学校休業日は日中）に、おやつ（食事）・排泄・睡眠等のリズムを整えて、安定した生活が送れるように支援します。 お子さんの健康状態の把握をし、意志表出の困難な方にも、表情の変化や普段の様子と違うことがないかなど、健康状態に配慮します。
	運動・感覚	**「身体を動かそう」** お子さんの状況に合わせた遊びの中で、微細運動・粗大運動・バランス感覚など様々な動きの経験をしていきます。 楽しく活動ができるように、室内遊びだけでなく散歩など季節に合わせた活動を行い経験の幅を広げていきます。　【関連するあそび】さんぽ　など
	認知・行動	**「『わかった！できた！』を重ねよう」** 環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択して行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。 【関連するあそび】感触あそび　など
	言語・ コミュニケーション	**「気持ちを伝える力を育てよう」** 様々な活動や人との関わりの中で、言語だけでなく身振り・手振り等の非言語コミュニケーションも用いて、意思が伝えられるように支援します。 伝えることの喜びや相手の気持ちを受け入れる経験をとおしてコミュニケーションの力が育つよう支援します。　【関連するあそび】読み聞かせ　など
	人間関係・ 社会性	**「人との関わりを楽しもう」** 集団生活やあそびをとおし、周囲の人との関わりを身につけていくよう支援します。 自ら発することが苦手なお子さんには、表情などを観察し共感する場面を作るよう支援します。　【関連するあそび】ふれあいあそび など

家族支援	送迎や面談を利用して、日常的に連携を図ります。関わりのなかで不安に思うことなど、家族の“困ったこと”を確認します。相談をとおして課題を明確にし、必要な支援を行います。	移行支援	成長にともない日々変化する課題に対して、関係機関との連携を図り、一貫性のある支援を提供できるようにします。
地域支援・地域連携	地域で安心して生活していけるよう周囲の理解を得るとともに、地域生活を送るうえで必要な知識や情報が共有できるように支援します。	職員の質の向上	専門職としての自覚と責任を持って日々の業務にあたります。職員は自ら学ぶ姿勢を保持し、専門性の向上とサービスの質の向上に努めます。
主な行事等	【誕生会、夏まつり、クリスマス会、個別面談（年2回）、家族懇談会】		